

えがおになあれ

(29)

子どもたちが明るく元気に育つのは、
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

子育てを応援します！ 出雲市社会福祉協議会の取組

出雲市社会福祉協議会では、市民、ボランティアグループ、福祉団体、福祉事業所など、多くの方の協力により、困りごとを福祉的な制度によってサポートしたり、支え合いの地域づくりなどに取り組んでいます。その中で、子育てを応援する地域活動もあります。関心のある方はお気軽におたすねください。

助け合いボランティア

ひとり親家庭などで、日常生活で困りごとのことを、市民である協会員がお手伝いする会員制の助け合い活動です。いろいろな困難を抱える子育て世帯へのサービス提供もしています。

ホームページでの情報提供

①暮らしのお助け情報「てなび」
食材や弁当の配達、家事代行など日常生活の困りごとの助けてくれるお店などを検索できます。
②みんなの福祉掲示板
ボランティアグループによる親子コンサート活動などについて、主催者から寄せられた情報を掲載しています。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

子育て支援活動への助成

社会福祉協議会が業務を行っている赤い羽根募金からの助成により地区社会福祉協議会やボランティアグループなどの活動を応援しています。親子が集うサロンや子育て相談、親子料理教室、子育て講演会、遊び場の遊具補修などを行っています。

教育支援資金の貸付

地域の民生委員さんと協力して学びを応援するもので、高校や大学などへの入学時や就学に必要な費用を貸付けます。ただし、収入基準や、他の公的制度の利用が優先するなどの規定があります。



子育てサロンでは、子育て中の親子が集まり、ゆっくりと過ごします。親のリフレッシュと情報交換の場にもなっています。

おたすね / 出雲市社会福祉協議会

☎ 233781

出雲の食材をおいしく食べよう！

今月の食材は 大豆 です！

「畑の肉」といわれるほど栄養価の高い大豆。出雲では斐川地域での生産が盛んで、その作付面積は約300ha、収穫は11月中旬頃です。

大豆は良質のたんぱく質や脂質を豊富に含んでいます。また骨粗鬆症の予防に有効なカルシウムや疲労回復に効果的なビタミンB1、女性ホルモンに似た働きをするイソフラボン、貧血予防の鉄、便秘解消の食物繊維などたくさんの栄養を含んでいます。

学校給食でも、斐川で作られた大豆をみそやとうふ、納豆などいろいろなかたちで献立に取り入れています。

斐川のおいしい大豆を使った学校給食のメニューはいろいろありますが、今回は大豆とかえりいりこ、えびを甘いタレでからめて作る「大豆のごまがらめ」を紹介します。この料理では、カルシウムをたくさん摂取することができ、またよく噛んで食べることで噛む力を鍛えることもできます。

ぜひご家庭でも作ってみてくださいね。

おたすね / 斐川学校給食センター ☎ 72-8005



大豆のごまがらめ

【材 料】(4人分)

- 大豆……………1/2カップ
 - かたくり粉…大さじ1~2
 - かえりいりこ……………30g
 - 干しえび……………60g
 - サラダ油……………適量
- | | |
|-------------|---|
| しょうゆ…小さじ1 | A |
| 酒……………小さじ2 | |
| みりん…小さじ2 | |
| さとう…大さじ1 | |
| いりごま……………少々 | |

【作り方】

- ①大豆は洗って、一晩水につけておく。
水気をきって、かたくり粉をうすくまぶし、油で揚げる。
- ②かえりいりこえびは、さっと素揚げする。
- ③Aを鍋に入れて火にかけ、煮立ったら揚げた大豆を入れ、さっとかからめてから、いりこ、えびを加えて混ぜ、ごまをふる。

12月3日～9日は障がい者週間です。



市では、毎年「はあとピアいずも（出雲市福祉芸術文化祭）」を開催しています。（今年は11月10日～11日に大社うらら館で開催）「はあとピアいずも」は、障がいのある方が日頃の文化創造活動を発表したり、地域の人たちと触れ合う機会を持つことで、障がいのある方に対する理解と関心を高めてもらう場となっています。「出雲市福祉のまちづくり条例」の理念に基づいた活動です。

障がい者週間とは

「障がい者週間」とは、平成16年6月の障がい者基本法の改正により、国民の間に広く障がい者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、そのほかあらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として、従来の「障がい者の日」（12月9日）に代わるものとして設定されました。

市では、障がいに対する差別や偏見のない社会を目指して「出雲市福祉のまちづくり条例」を制定し、すべての市民が平等で、真に豊かな社会の実現を目指しています。また、昨年度は、障がいを持つ人が自分で希望する生活を送るための体制を整えるための「第3期出雲市障がい福祉計画」を策定しました。

この障がい者週間の機会に、誰もが充実した暮らしが出来る地域づくりについて一緒に考えていきたいと思います。

出雲市委託指定障がい者相談支援事業所

委託相談支援事業所	住所	電話番号
1 ハートピア出雲	出雲市武志町 693-4	23-2720
2 ふあっと	出雲市武志町 693-1	25-0130
3 さざなみ学園	出雲市神西沖町 2534-2	43-2252
4 光風園	出雲市湖陵町大池 240-1	43-2101
5 出雲サンホーム	出雲市神西沖町 1315	43-7575
6 かのん (ふたば園)	出雲市神西沖町 2476-1	43-2539
7 プレーゲ	出雲市灘分町 613 (出雲市立総合医療センター内 ひらた健康福祉センター1階)	62-2977
8 太陽の里	出雲市斐川町名島 90	72-9125
9 エスティーム	出雲市斐川町学頭 1625-27	72-7200

※委託相談支援事業所は、県の指定相談支援事業所の中から市が委託した指定相談支援事業所です。

福祉サービス（訓練等給付）

サービスの種類	サービスの内容	
訓練等給付	自立訓練（機能訓練）	自立した地域生活を営むことができるよう、一定期間、身体機能の維持・回復訓練を行います。
	自立訓練（生活訓練）	自立した地域生活を営むことができるよう、一定期間日常生活能力を向上するための訓練や相談支援を行います。
	就労移行支援	一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。
	就労継続支援 A	通所により、雇用計画に基づく就労の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった方について、一般就労への移行に向けた支援を行います。
	就労継続支援 B 型	通所により、就労や生産活動の機会を提供（雇用契約は結ばない）するとともに、一般就労に必要な知識、能力が高まった方について、一般就労への移行に向けた支援を行います。

◆障がい者の相談窓口

障がいのある方は、日常生活の中での生活のしづらさを抱えています。見た目には障がい分かりにくく、周囲の人から障がいの理解が得にくい方もあります。

また、地域の方も、障がいについて正しく理解していただき、障がいの特性を理解し、障がいのある方へのちょっとした配慮や、お手伝いをいただくことで不安やストレスの軽減につながり、暮らしやすくなります。

障がいのある方の、日常の生活や、日中の過ごし方についての困りごとも、相談支援事業所へ相談することにより、様々な福祉サービスに結びつけることができます。

また、「高次脳機能障がい」、「発達障がい」の診断を受けた方も同様に障がいに関する相談や福祉サービスを利用することができ、相談支援事業所は、必要に応じいろいろな機会と連携を取り、支援を行っています。市役所や、最寄りの支所または、相談支援事業所にご相談ください。

また、障がいにより仕事に就きたくても就けない場合や仕事を辞めてしまった場合には、障がい福祉サービス（訓練等給付）がご利用になれます。訓練等給付は次の表にある事業を行なっています。利用申請等につきましても市役所または相談支援事業所へおたずねください。

おたずね／福祉推進課
☎ 6959